

令和3年度 海洋教育パイオニアスクール単元開発

「オンライン博物館学習～ICTを活用した博物館実習～」 実施要項

- 1 目的
- ICTを活用し、関係機関（兵庫県立人と自然の博物館）をつなぎ、本州中部地方と北海道の自然について比較することで、地域の自然に興味関心を持たせる。
 - 干潟の生物やベントスの学習を通して豊かな海の持続的な利用について歴史文化の側面を含め、博物館の展示より学習する。
 - 博物館学習をとおして、博物館の役割を理解し、その仕事内容を理解する。
- 2 日時 令和4年2月25日（金） 13：15～15：00 （5～6時間目）
- 3 場所 本校生物化学教室
- 4 ICT web カメラ PC モニター HDMI ケーブル wifi ZOOM
- 5 内容 事前学習（2時間）
- 1 h ・特別展の youtube 視聴
ベントスとそれにまつわる展示について学習
- 内容の整理
 - 展示物に対する質問事項を考える
- 2 h ・兵庫県立人と自然の博物館の HP を閲覧
常設展の展示内容をネット上で確認し、興味関心を持った展示とそれに対する質問事項を考える

※ 事前学習で出された質問事項や要望を先方へ伝える

13：00 接続確認

カメラ・音声確認

13：15 挨拶・説明

13：20 ・館内の見学（可能な場所をあらかじめ調整しておく）

14：20 ・「ベントスに関する生物学的な講話」（講師より）

・質疑

・「博物館の仕事とは？」（講師より）

15：00 終了

- 6 講師 標津高校：鈴木 祐二 教諭
兵庫県立大学自然環境科学研究所：頼末 武史 准教授（兵庫県立人と自然の博物館）
- 7 生徒数 2年自然環境系科目 5名
- 8 事前準備 ・ネット環境の事前共有と講師打ち合わせ